

☆☆☆ 生育概況（7月7日調査） ☆☆☆

<早植コシヒカリ>※ 那須塩原市については、追肥を行ったことから平均から除外

草丈：全地点で前年より長い（113%）。

茎数：那須烏山市は前年より多いが、他の地点は前年より少なく、平均で前年より少ない（86%）。

葉齢：地点によりバラツキはあるが平均では前年並みに進んでいる。

葉色：地点によりバラツキはあるがほぼ前年並み（-0.3）。

<早植とちぎの星>

草丈：全地点で前年より長い（113%）。

茎数：真岡市で前年並み、他の地域では少なく、平均で前年より少ない（84%）。

葉齢：宇都宮市で0.5進み、農研センターは0.8遅れている。他の2地点はほぼ前年並み。平均で前年並み（-0.1）。

葉色：宇都宮市、農研センターで淡く、さくら市は前年並、真岡市では濃い。平均で前年より淡い（-0.4）。

<普通植とちぎの星>

草丈：5月下旬植えは前年並み（102%）、6月中旬植は前年より長い（112%）。

茎数：5月下旬植えは少なく（94%）、6月中旬植は前年より葉齢が進んでいるためかなり多い（276%）。

葉齢：5月下旬植えは前年並み（-0.1）、6月中旬植えは移植時の葉齢が前年より0.8進んでいたため、前年より1.5進んでいる。

葉色：前年より5月下旬植は0.6、6月中旬移植0.9濃い。

○気象概況

6月下旬：この期間の天気は、前半は熱帯低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、23日と25日は雷を伴い非常に激しい雨の降った所がありました。後半は高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温は平年よりかなり高くなりました。宇都宮の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間はかなり多く、旬降水量は平年並となりました。

○生育調査結果

【早植コシヒカリ】県内10カ所

梅雨入り後、日照時間が一時的に平年並みとなったが、その後は高温多照となっています。また、梅雨期間の降水量が少なくなっています。草丈は、全地点で長くなりました（前年比113%）。茎数は、那須烏山市で調査ほ場が変更になった影響で多くなったと思われます。他の地点は前年より少なく、平均でも少なくなりました（86%）。葉齢は、地点でバラツキがありましたが、平均すると前年並みでした。葉色は、全体的にはほぼ前年並となっています（前年差-0.3）。農研センターの調査では、前年より葉面積は広く、乾物重は重くなっていることから、生育は良好と推測されます。

しかし、生育診断値（葉色×茎数値）は茎数が少なくなっている影響で、前年より低くなっており（81%）、那須塩原市以外は、追肥時期の基準値（1,680~1,890）を下回っている地点が多い状況です。茎数は、基準値内若しくは基準値に近いのに対し、葉色が基準を下回っていることから、出穂期～登熟期が高温で経過すると品質が低下しやすい生育となっています（図1）。

【早植とちぎの星】県内4カ所

とちぎの星の草丈は、全地点で長くなりました（113%）。茎数は、真岡市で前年並みでしたが、他の地点は少なく、平均でも少なくなりました（84%）。葉齢は、宇都宮市で進み、農研センターでは遅れました。平均では前年並みでした。葉色は、真岡市で濃くなりましたが、宇都宮市、農研センターで淡く、平均では淡くなりました（-0.4）。

【普通植とちぎの星】県内2カ所

草丈は、5月下旬植え、6月中旬植えともに長くなりました（105%）。茎数は、5月下旬植えは少なく、6月中旬植えは移植時の葉齢が進んでいたことからかなり多く、平均では多くなりました（125%）。葉齢は、5月下旬植えは前年並み、6月中旬植えは進み、平均では0.7進んでいました。葉色は、5月下旬植え、6月中旬植えともに前年より濃くなりました（+0.7）。

生育診断値

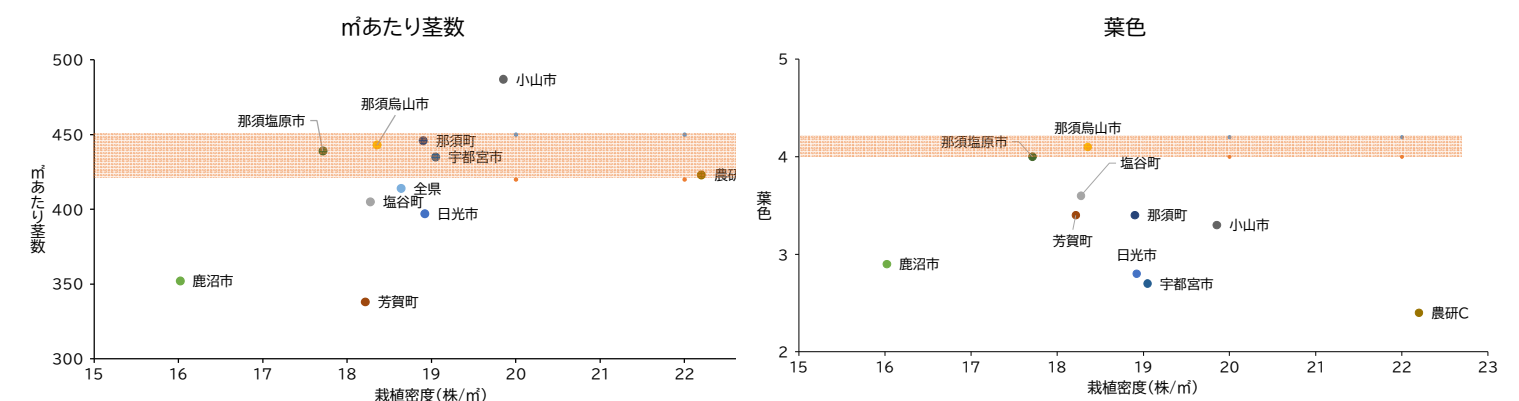
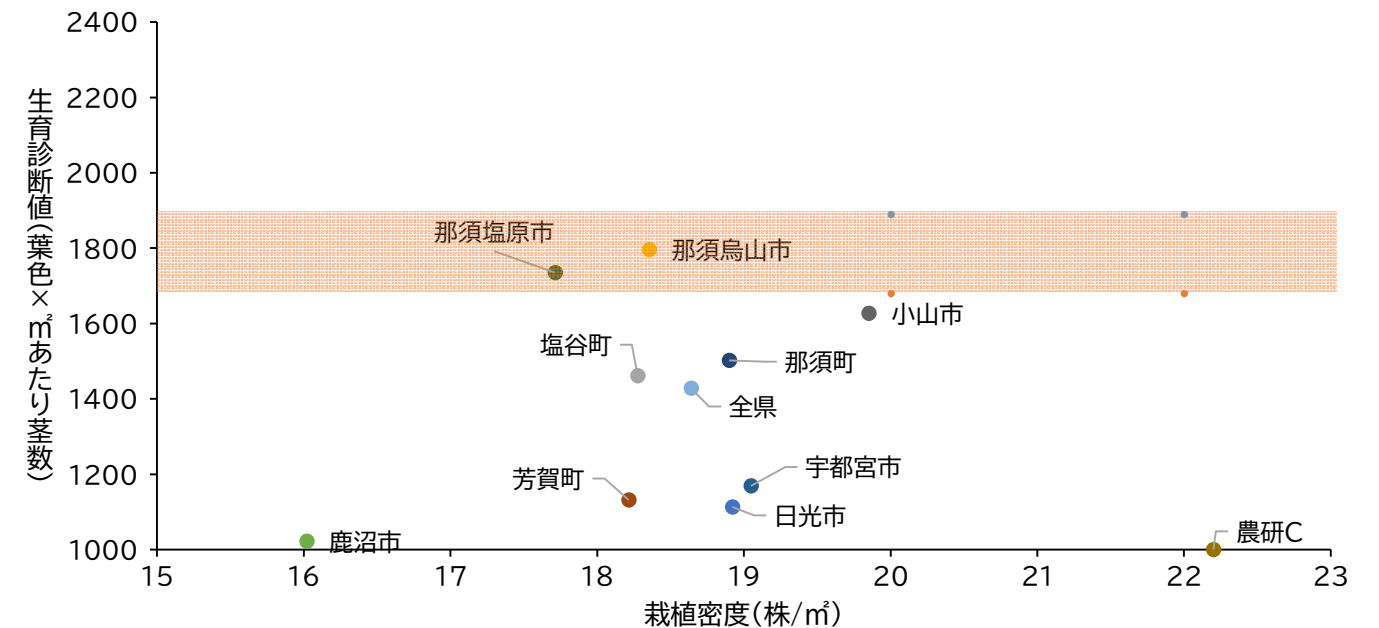


図1 コシヒカリ生育診断値の分布
（着色部は基準値範囲を示す）

○農研センター地温の推移

今年の農業総合研究センター水田の地温は前年と同様に高温で推移しています。特に6月中、下旬がかなり高くなりました。期間の平均気温は前年並みとなっていることから、前年同様に緩効性肥料の溶出が早まっている可能性があります。葉色も前年並みとなりました。

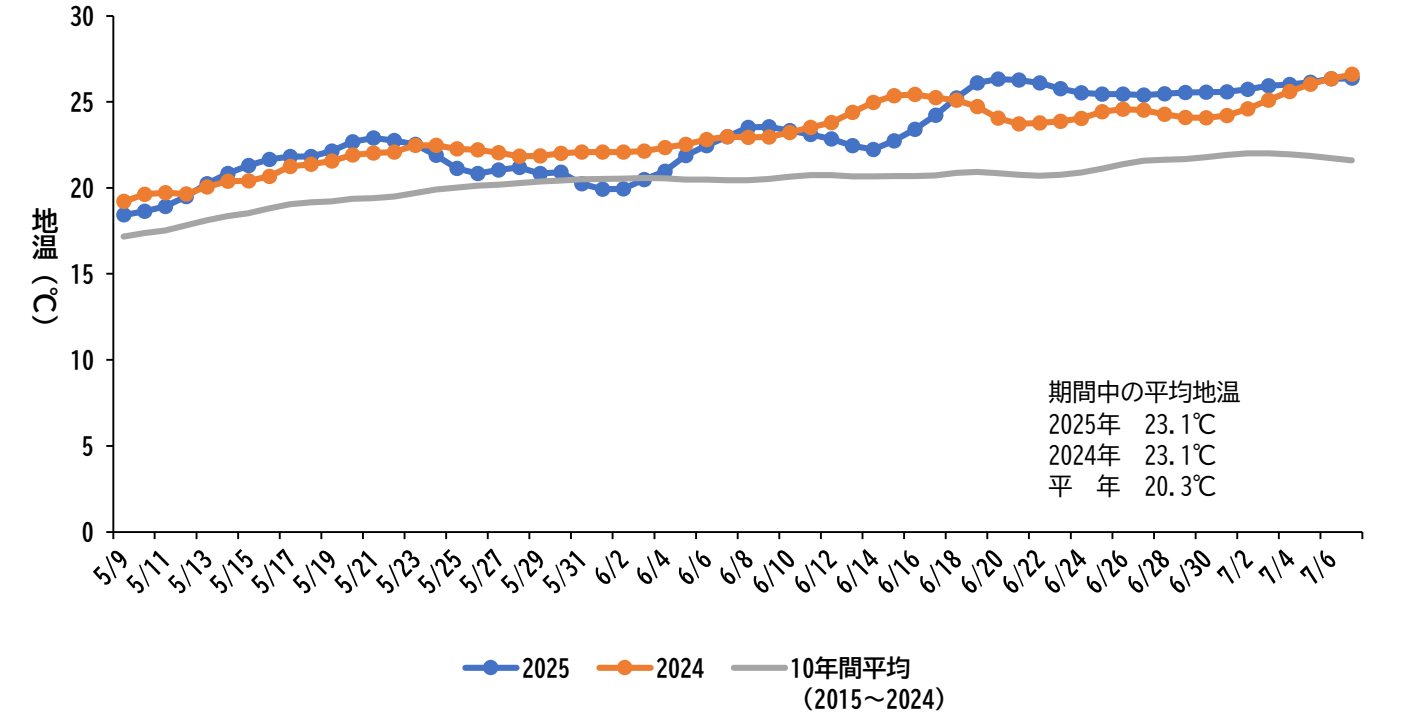


図2 農業総合研究センター水田の地温推移

○令和7（2025）年 水稻の出穂予測について

(1) 幼穂長からの出穂期予測
7月7日に実施した幼穂長調査から推定した出穂期予測を表1に示しました。コシヒカリは、7月19日～7月31日と予測され、県平均では**7月21日**と予測されました。観測史上最も早い出穂期となった**前年より早い時期に出穂**すると予想されます。とちぎの星は、7月29日～8月3日と予想され、県平均では7月31日と予想されました。

コシヒカリ					
調査場所	幼穂長(mm)	出穂前日数	予測出穂日	前年出穂日	移植日
那須町寺子丙	1.6	-24	7月31日	8月2日	5月10日
那須塩原市一区町	8.2	-18	7月25日	7月22日	5月2日
塩谷町玉生	8.0	-18	7月25日	7月25日	5月3日
那須烏山市南大和久	16.4	-15	7月22日	7月19日	5月4日
日光市木和田島	26.4	-13	7月20日	7月21日	5月4日
鹿沼市久野	66.6	-12	7月19日	7月23日	5月1日
宇都宮市川田町	1.3	-24	7月31日	7月25日	5月3日
芳賀町東水沼	1.5	-24	7月31日	7月25日	5月4日
小山市鏡	53.0	-12	7月19日	7月21日	5月3日
農業総合研究センター	5.6	-19	7月26日	7月22日	5月7日
平均	18.9	-14	7月21日	7月23日	5月4日

※ 全地区平均予測出穂日は平均幼穂長から求めた。

とちぎの星					
調査場所	幼穂長(mm)	出穂前日数	予測出穂日	前年出穂日	移植日
さくら市狭間田	1.0	-25	8月1日	7月30日	5月12日
宇都宮市下桑島町	0.5	-27	8月3日	7月31日	5月9日
真岡市清水	1.0	-25	8月1日	7月28日	5月8日
農業総合研究センター	2.8	-22	7月29日	7月25日	5月7日
平均	1.3	-24	7月31日	7月28日	5月9日

表1 7月7日調査幼穂長から予測される出穂期

(2) DVR 法による出穂予測

図3にノンパラメトリック DVR 法による出穂期予測を示しました。宇都宮市で5月4日に移植されたコシヒカリについて7月7日までの気温により出穂を予測しました。なお、7月8日以降は平年値を用いて計算しています。7月8日以降平年並の気温で経過すると、**7月23日**に出穂すると予測されました。7月8日以降、**気温が高め（+2℃）で経過すると7月21日**、低め（-2℃）で経過すると7月24日に出穂すると予測されました。

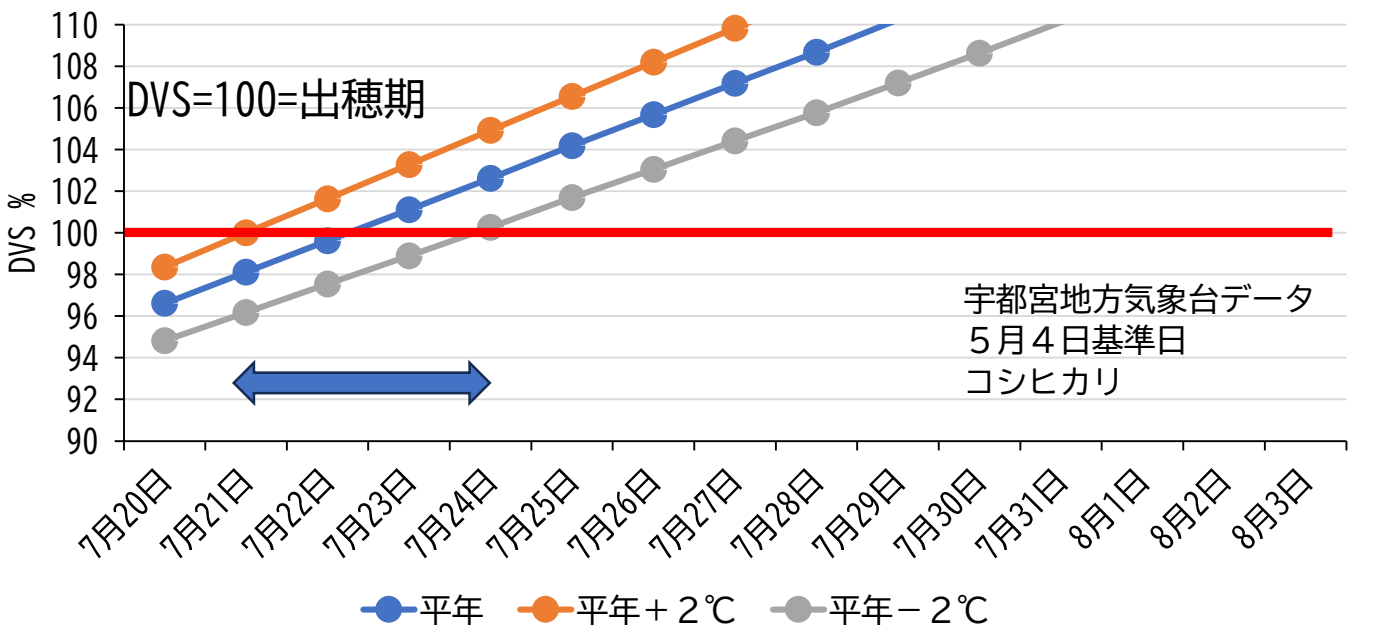


図3 ノンパラメトリック DVR 法による出穂期予測（7月8日に計算）

(3) メッシュによる出穂予測

コシヒカリの出穂期予測結果について、農業研究センターで、農業気象メッシュ図を作画した結果を図4に示しました。県南部の早いところでは、7月18日頃から出穂が始まる予測となっています。

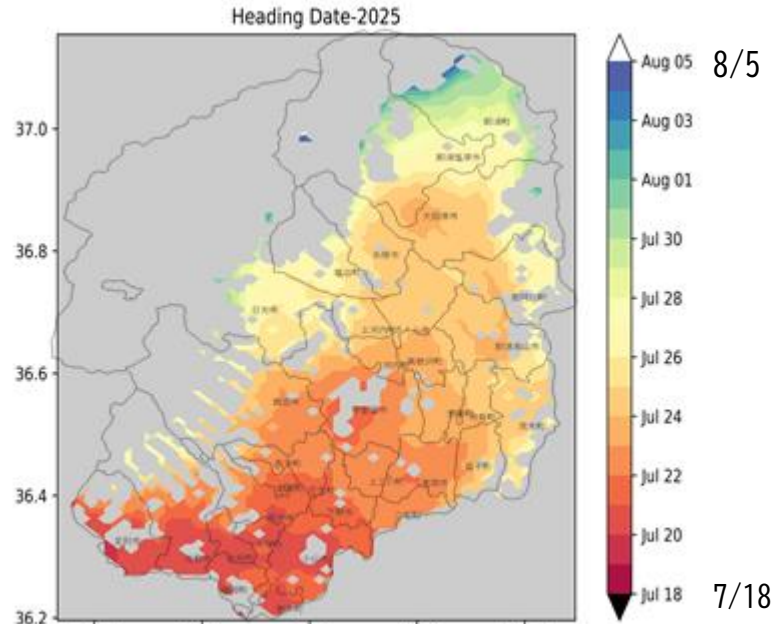


図4 農業気象メッシュで算出した県内出穂期分布（栃木県農業研究センター 5月4日移植で計算）

気象庁 関東甲信地方 1 か月予報（7月3日発表）

関東甲信地方 1 か月予報（07/05～08/04）		
2025年07月03日14時30分 気象庁 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高い状態が続く見込みです。	
向こう1か月 07/05～08/04	天候	期間の前半は、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率80％です。
	降水量	降水量は、平年並または少ない確率ともに40％です。
	日照時間	日照時間は、多い確率60％です。
1週目 07/05～07/11	気温	1週目は、高い確率80％です。
2週目 07/12～07/18	気温	2週目は、高い確率80％です。
3～4週目 07/19～08/01	気温	3～4週目は、高い確率60％です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）				
気温	関東甲信地方	向こう1か月 07/05～08/04	10	80
		1週目 07/05～07/11	10	80
		2週目 07/12～07/18	10	80
		3～4週目 07/19～08/01	10	60
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 07/05～08/04	40	20
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 07/05～08/04	10	60

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

・向こう1か月の平均気温は高い予報です。降水量は平年並または多い予報です。

□■□ 今後の技術対策 □■□

(1) 水管理

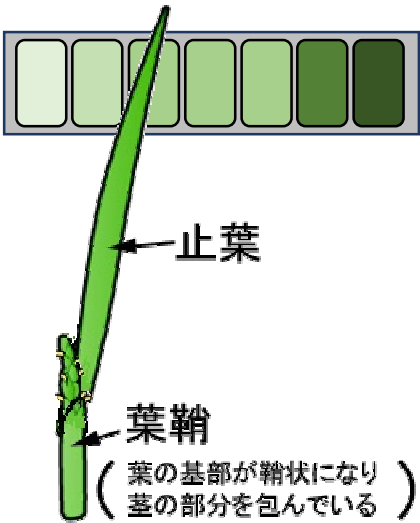
現在、出穂期の2週間前の減数分裂期です。この時期は稲の生育の中で最も水が必要な時期です。この時期に干ばつなどで水分が不足すると1穂粒数の減少や奇形穂が発生しやすくなりますので、水不足にならないようにかん水を行いましょう。また、出穂後20日までの高温は、白未熟粒、胴割米等、高温障害発生に大きな影響を与えます。間断かん水を行う際には、水温の低い夜間や早朝に入水を行い、地温の低下に努めましょう。

県南部においては、麦作に備え出穂後早めに水を切ってしまう方がおりますが、前年同様に出穂～登熟中期に水不足になると、水稻品質を著しく低下させますので早期落水は絶対に行わないようにしましょう。

(2) 高温障害による品質低下を回避する施肥について

出穂後20日間の平均気温が26℃を超える高温年の場合、出穂期から穂揃期の葉色が淡い場合は白未熟粒が発生しやすくなります。

今年は茎数が少なく、葉色が淡いほ場が目立ちます。このような稲は登熟が不足し、未熟粒が増加する可能性があります。品質を低下させないためにも、**出穂前5日（走り穂が出る頃）の止葉**葉色が**SPAD値で[34]以下、葉色板で3を下回っていれば**出穂期を目安に速効性の窒素肥料で**2～3kg/10aの追肥**を行いましょう。前年の高温下でも追肥を行った効果は確認されましたので実施を検討してください。



(3) 病害虫の防除

今年は気温が高く推移することが予想されます。水稻の生育が早まっていますので、防除適期を逃さないよう注意しましょう。

ア イネカメムシ対策

前年から県南地域を中心に発生が確認されました。今年も発生が確認され、**農業総合研究センターから7月8日付で注意報**が出されました。イネカメムシは、出穂期に穂を吸汁することで不稔が発生し減収につながります。また、乳熟期の吸汁は斑点米の発生につながります。

出穂期防除が必須であり、通常の斑点米カメムシ類と防除体系が異なります。表にあるような有効な薬剤を使用して適期防除に努めましょう。

イネカメムシ注意報(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/documents/2025chuuihou2.pdf>)



写真 出穂した穂

注 意

葉鞘からわずかでも穂が出ていれば出穂です。
ほ場全体の4～5割出穂していれば出穂期となります。



写真 イネカメムシ（左：成虫、右：幼虫）

7月上中旬→	出穂期	穂揃期	乳熟初期	乳熟後期以降→	収穫後
(1) 発生初期の把握	(2) 薬剤防除の実施				(3) 耕うん
イネカメムシ対策	薬剤散布1回目	7～10日後	薬剤散布2回目	追加防除3回目	秋耕
	不稔防止		斑点米防止		生息場所除去

図5 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除体系

表2 水稻のカメムシ類に登録のある主な薬剤（令和7(2025)年6月30日現在）

農薬名	希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の系統	IRAC コード
スミチオン乳剤	1000倍	収穫21日前まで	2回以内	MEP	有機リン系	1B
キラップフロアブル	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	エチプロール	フェニルピラゾール	2B
トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで	3回以内	エトフェンプロックス	ピレスロイド	3A
スタークル液剤10	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ジノテフラン	ネオニコチノイド	4A
エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	スルホキサフロル	スルホキシイミン	4C

注1 IRAC コードが同一のものは作用点が同じなので連用を避ける。

注2 詳細は、「[栃木県農作物等病害虫雑草防除指針](#)」を参照。

イ 斑点米カメムシ

常日頃から農道・畦畔等の草刈りを励行し、出穂2週間前頃に一斉草刈りを行うなど、地域ぐるみで生息密度の低減を図りましょう。但し、出穂期前後の草刈りは、斑点米カメムシ類の水田への侵入を助長するので、原則行わないようにしましょう。やむをえず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除直前に行うようにしましょう。これらの対策は、関係者と十分連携を図り、組織的に取り組むと効果的です。

また、水田内のノビエやイヌホタルイ等の雑草も、斑点米カメムシ類の発生源となるため、残草が見られる場合は除草対策を徹底しましょう。

特に、今年は出穂が早まる事が予想されます。草刈りや薬剤散布のタイミングを逸しないように注意してください。

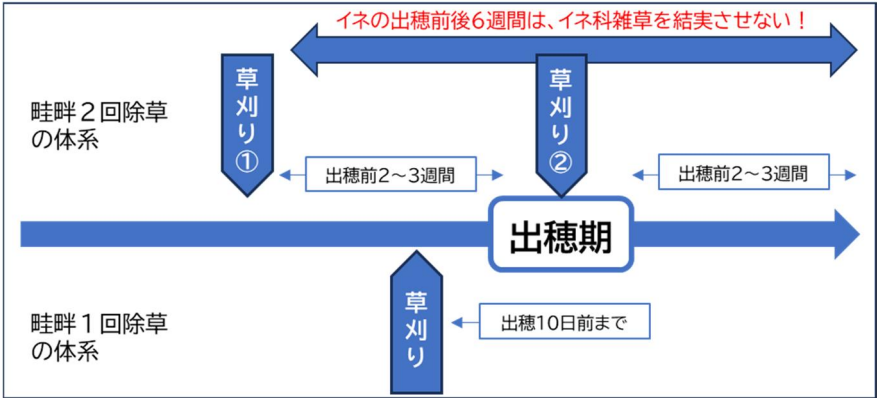


図6 斑点米カメムシ類防除を目的とした除草体系

ウ 稲こうじ病

前年多発したほ場は、防除適期（出穂 20～10 日前）に効果的な薬剤を散布しましょう。なお、適期を逃すと効果が低下するので注意しましょう。



エ いもち病（葉いもち）

令和7(2025)年度 病害虫発生情報 第3号（農業総合研究センター R7.6.20 公表）によると発生は「やや少ない」予報となっています。

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果では6月10日以降に各地で感染好適条件が出現しています。（<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/boujo/documents/yohou202506.pdf>）

いもち病は気温 25℃～28℃で湿度の高い条件で感染拡大が進みますので、ほ場を良く見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

表3 BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果（令和7年度）

発生指標	？：判定不能	－：好適条件なし	1：準好適条件1	2：準好適条件2	3：準好適条件3	4：準好適条件4	●：好適条件		
	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
6月10日	－	－	－	－	－	4	●	●	●
6月11日	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6月12日	－	4	●	－	●	－	－	－	－
6月13日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月14日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月15日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月16日	－	－	－	－	－	－	●	－	－
6月17日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月18日	●	－	－	－	－	－	－	－	－
6月19日	－	●	－	－	－	－	－	－	－
6月20日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月21日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月22日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月23日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月24日	－	2	2	－	－	－	－	－	－
6月25日	－	－	－	2	2	2	2	－	－
6月26日	－	－	－	2	－	－	2	－	－
6月27日	－	2	●	2	2	－	2	3	3
6月28日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月29日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
6月30日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7月1日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7月2日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7月3日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7月4日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
7月5日	●	2	2	2	2	3	－	－	3
7月6日	－	－	2	2	－	－	－	－	－
7月7日	－	－	－	－	－	3	－	－	－

2025年 気象経過グラフ

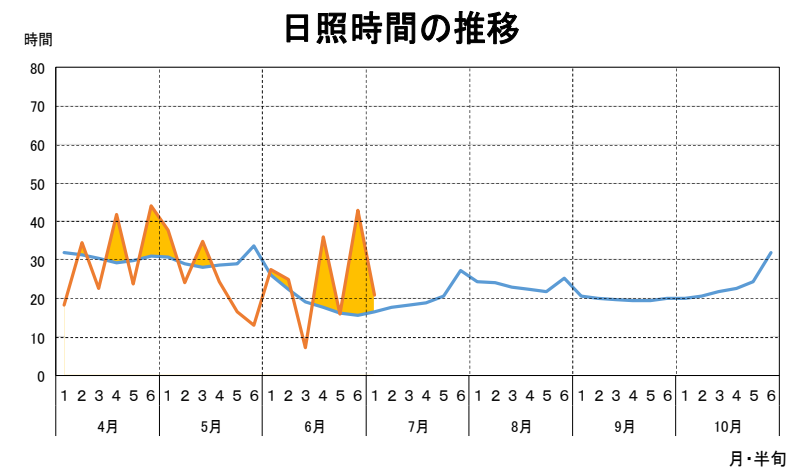
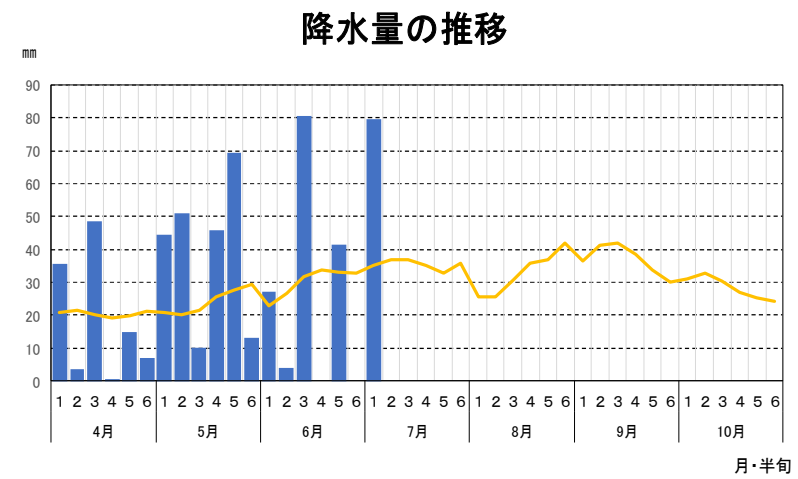
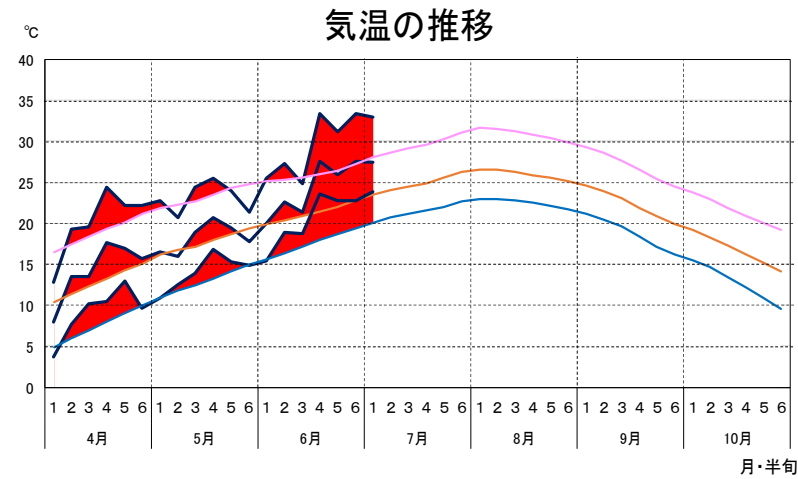
AMeDAS地点 宇都宮アメダス

【暖候期グラフ】

農政部経営技術課

自：令和7年4月1日

至：令和7年7月8日



4月		本年	平年	平年比／差
	平均気温(°C)	10.8	10.9	-0.1℃
	上旬			
	降水量(mm)	39	41.3	94.4%
	日照時間(h)	52.5	64	82.0%
	中旬			
	平均気温(°C)	15.5	12.8	2.7℃
	降水量(mm)	49	38.1	128.6%
	日照時間(h)	64.3	58.9	109.2%
下旬	平均気温(°C)	16.3	14.6	1.7℃
	降水量(mm)	22	42.1	52.3%
	日照時間(h)	67.7	62	109.2%

5月		本年	平年	平年比／差
	平均気温(°C)	16.3	16.6	-0.3℃
	上旬			
	降水量(mm)	95.5	39	244.9%
	日照時間(h)	61.8	58.8	105.1%
	中旬			
	平均気温(°C)	19.7	17.5	2.2℃
	降水量(mm)	56	45.9	122.0%
	日照時間(h)	59.2	54.5	108.6%
下旬	平均気温(°C)	18.5	19.2	-0.7℃
	降水量(mm)	82.5	64.3	128.3%
	日照時間(h)	29.5	62	47.6%

6月		本年	平年	平年比／差
	平均気温(°C)	21.2	20.1	1.1℃
	上旬			
	降水量(mm)	31	43.6	71.1%
	日照時間(h)	52.6	52	101.2%
	中旬			
	平均気温(°C)	24.5	21.2	3.3℃
	降水量(mm)	80.5	69.2	116.3%
	日照時間(h)	43.2	37.1	116.4%
下旬	平均気温(°C)	26.7	22.3	4.4℃
	降水量(mm)	41.5	62.4	66.5%
	日照時間(h)	58.7	29.3	200.3%

7月		本年	平年	平年比／差
	平均気温(°C)	28	23.7	4.3℃
	上旬			
	降水量(mm)	81	76.3	106.2%
	日照時間(h)	34.5	34.3	100.6%
	中旬			
	平均気温(°C)			
	降水量(mm)			
	日照時間(h)			
下旬	平均気温(°C)			
	降水量(mm)			
	日照時間(h)			

【参考データ】

〔早植コシヒカリ：本田における生育調査結果〕

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1 株本数 (本/株)			茎 数 (本/m ²)			葉 齢(葉)			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×莖数			幼穂長 (mm)		
		本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	比(%)	本年	前年	差
1	那須町寺子丙	77.6	65.8	118%	23.6	25.9	91%	446	455	98%	11.6	10.9	0.7	32.5	32.7	-0.2	3.4	3.5	-0.1	1,502	1,593	94%	1.6	0.0	1.6
2	那須塩原市一区町	89.4	80.1	112%	24.8	33.4	74%	439	538	82%	11.6	13.6	-2.1	29.7	29.4	0.3	4.0	3.5	0.5	1,735	1,882	92%	8.2	11.3	-3.2
3	塩谷町玉生	86.2	75.2	115%	22.2	29.1	76%	405	516	79%	11.8	11.6	0.2	35.5	38.8	-3.3	3.6	3.7	-0.1	1,461	1,908	77%	8.0	5.4	2.7
4	那須烏山市南大和久	91.4	76.6	119%	24.1	22.3	108%	443	418	106%	11.9	12.3	-0.4	32.4	29.4	3.0	4.1	3.1	1.0	1,796	1,312	137%	16.4	18.9	-2.5
5	日光市木和田島	87.1	73.0	119%	21.0	22.8	92%	397	476	83%	12.3	11.4	0.9	34.7	29.5	5.2	2.8	2.8	0.0	1,113	1,333	83%	28.4	21.0	7.4
6	鹿沼市久野	85.1	74.4	114%	22.0	24.1	91%	352	383	92%	12.3	11.7	0.6	36.1	40.0	-3.9	2.9	4.9	-2.0	1,022	1,870	55%	66.6	6.1	60.5
7	宇都宮市川田町	87.4	77.6	113%	22.9	26.0	88%	435	485	90%	12.0	11.4	0.6	35.4	33.4	2.0	2.7	3.4	-0.7	1,169	1,628	72%	1.3	0.6	0.7
8	芳賀町東水沼	84.8	76.4	111%	18.6	27.2	68%	338	509	66%	12.2	12.6	-0.4	34.7	37.4	-2.7	3.4	2.9	0.5	1,132	1,476	77%	1.5	2.5	-1.0
9	小山市鏡	91.2	87.1	105%	24.5	28.4	86%	487	541	90%	12.0	11.9	0.1	31.1	32.6	-1.5	3.3	3.2	0.1	1,627	1,733	94%	53.0	6.7	46.3
10	農業総合研究センター	85.6	78.9	108%	19.0	21.6	88%	423	479	88%	11.6	11.7	-0.1	29.7	30.8	-1.1	2.4	3.3	-0.9	1,000	1,564	64%	5.6	2.1	3.5
平均	全量基肥平均	86.3	76.5	113%	22.0	26.1	84%	414	480	86%	12.0	11.9	0.1	33.6	33.4	0.2	3.2	3.4	-0.3	1,314	1,630	81%	19.1	7.4	11.6
分施	農業総合研究センター	83.6	79.0	106%	20.6	23.1	89%	459	514	89%	11.1	11.7	-0.6	27.4	28.7	-1.3	2.3	3.2	-0.9	1,077	1,618	67%	5.9	3.8	2.1

※葉色は葉色板の数値
葉色は数値が高いほど濃い
黄色網掛けの那須塩原市分
は平均に含まない。
単位注意 (mm)

〔早植とちぎの星：本田における生育調査結果〕

No.	設置場所	草 丈 (cm)			1 株本数 (本/株)			茎 数 (本/m ²)			葉 齢(葉)			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×莖数			幼穂長 (mm)		
		本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	比(%)	本年	前年	差
11	さくら市狭間田	75.4	66.8	113%	23.7	29.1	81%	367	507	72%	11.2	11.4	-0.2	34.4	35.9	-1.5	3.8	3.7	0.1	1,391	1,874	74%	1.0	2.1	-1.1
12	宇都宮市下桑島町	86.6	78.0	111%	24.5	30.2	81%	466	577	81%	12.6	12.1	0.5	43.6	42.0	1.6	3.0	3.9	-0.9	1,408	2,246	63%	0.5	0.1	0.4
13	真岡市清水	80.9	69.1	117%	25.8	25.6	101%	482	483	100%	11.7	11.7	0.0	38.2	38.0	0.2	3.6	3.2	0.4	1,717	1,546	111%	1.0	0.0	1.0
14	農業総合研究センター	81.3	72.1	113%	22.2	26.3	84%	494	583	85%	10.6	11.4	-0.8	34.5	33.6	0.9	2.5	3.5	-1.0	1,220	2,018	60%	2.8	2.0	0.8
平均	早植平均	81.1	71.5	113%	24.1	27.8	87%	452	537	84%	11.5	11.7	-0.1	37.7	37.4	0.3	3.2	3.6	-0.4	1,434	1,921	75%	1.3	1.0	0.3

※葉色は葉色板の数値
葉色は数値が高いほど濃い
単位注意 (mm)

〔普通植とちぎの星：本田における生育調査結果〕

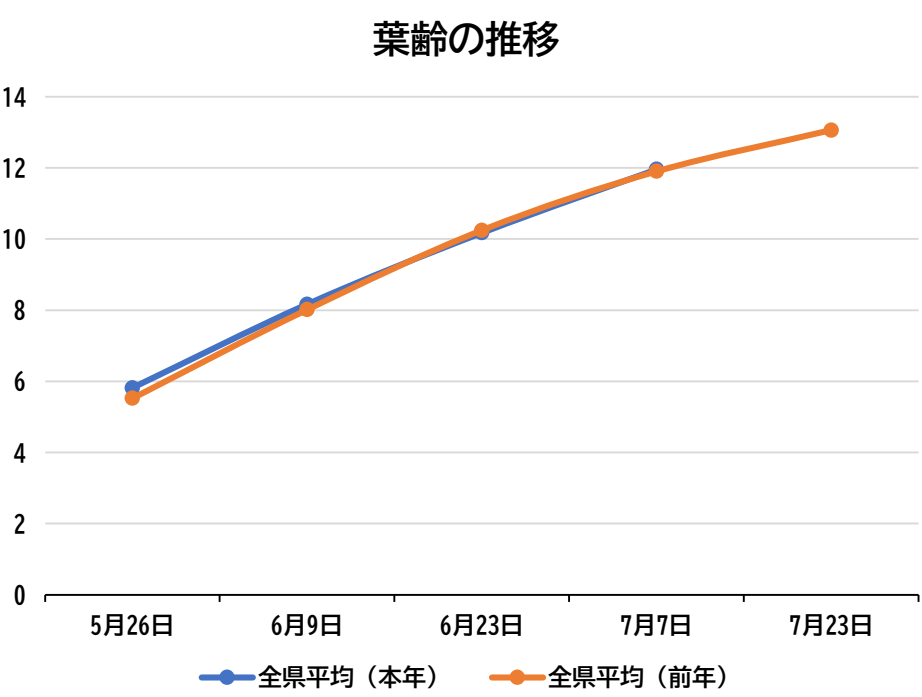
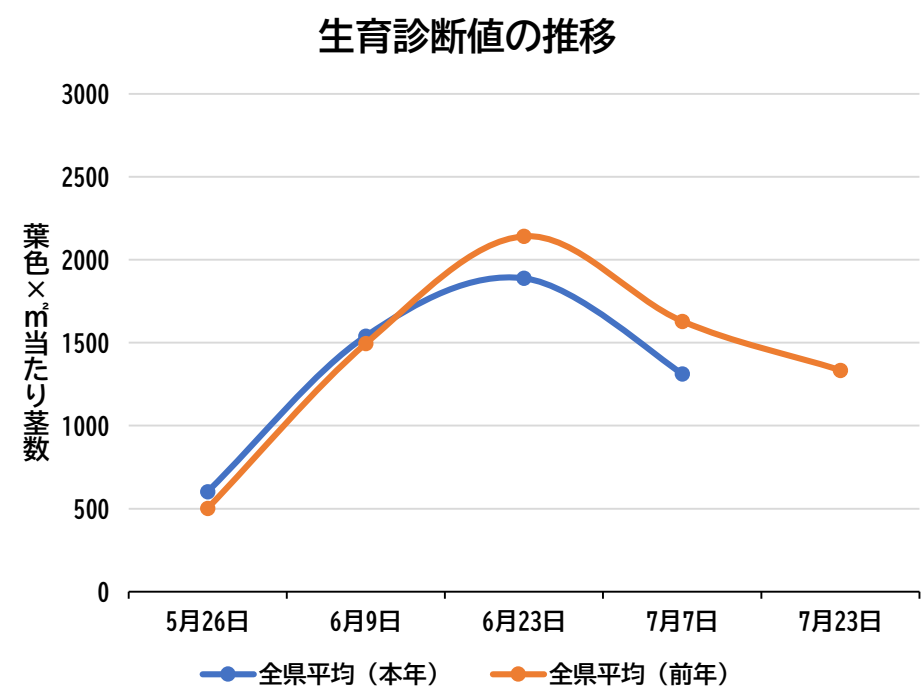
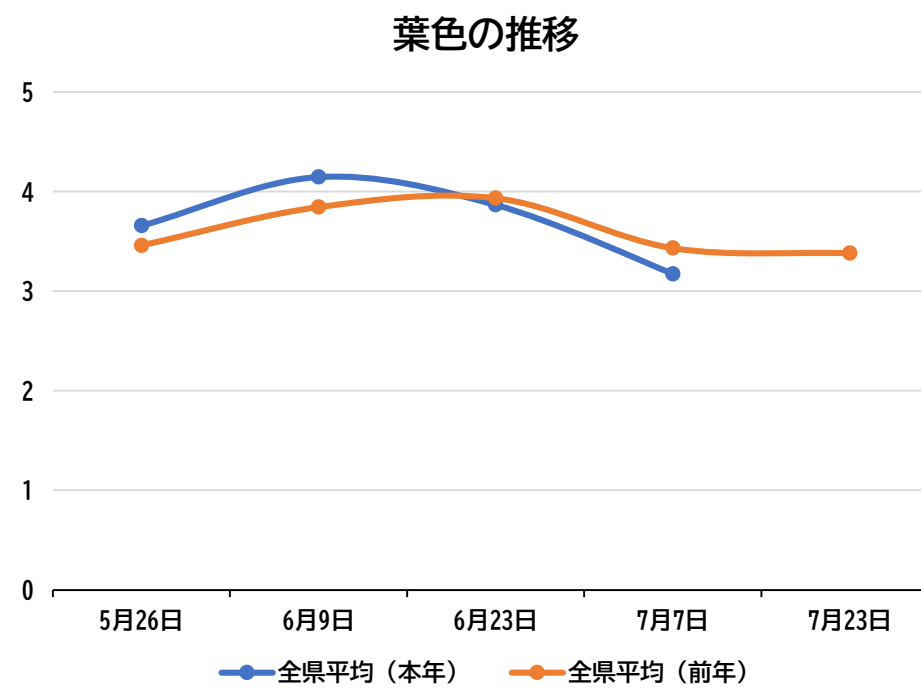
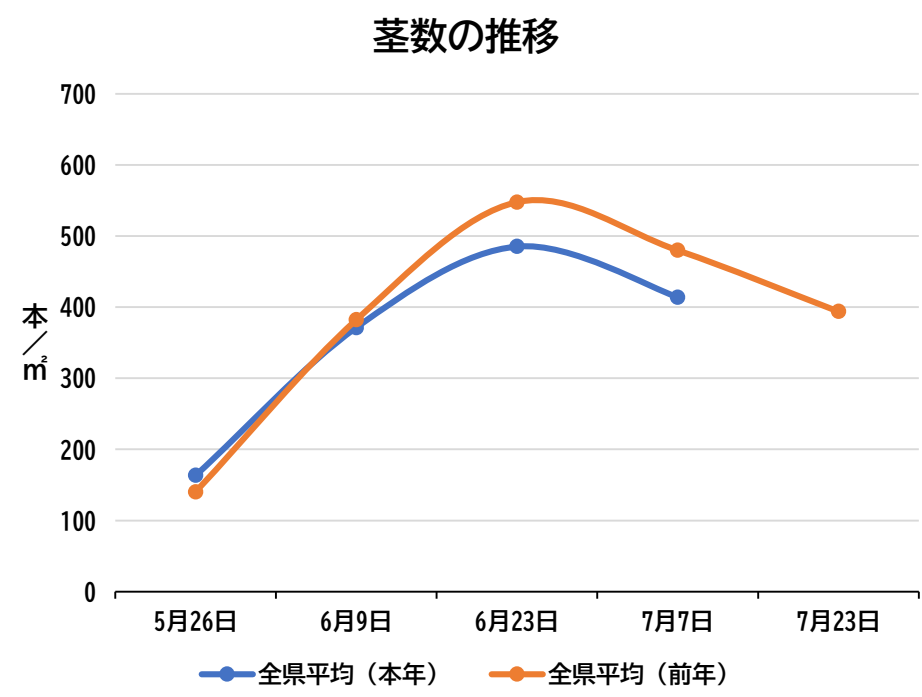
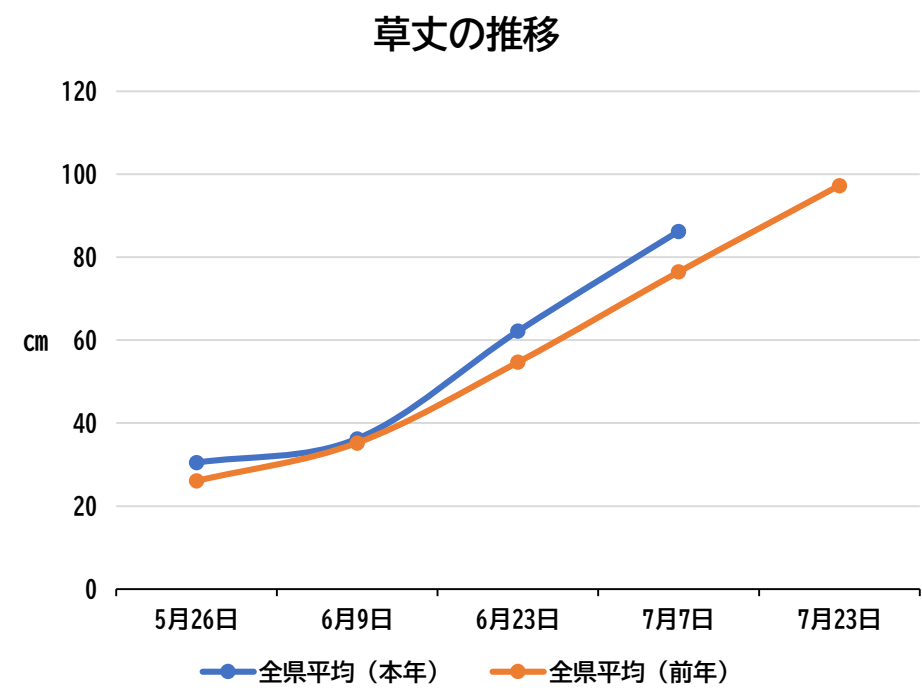
No.	設置場所	草 丈 (cm)			1株本数			茎 数(本/m ²)			葉 齢			葉色(葉緑素計)			葉 色(葉色板)			葉色×莖数		
		本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本 年	前 年	比(%)	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	比(%)
○5月下旬植え																						
15	栃木市皆川	63.1	62.1	102%	26.5	32.8	81%	495	524	94%	9.8	9.9	-0.1	38.0	41.9	-3.9	4.6	4.0	0.6	2,265	2,117	107%
○6月中旬植え																						
16	佐野市堀米町	33.1	29.6	112%	15.8	5.9	268%	295	107	276%	8.5	7.0	1.5	43.1	36.4	6.7	4.3	3.4	0.9	1,269	364	349%
平均	普通植平均	48.1	45.9	105%	21.2	19.4	109%	395	316	125%	9.2	8.5	0.7	40.6	39.2	1.4	4.5	3.7	0.7	1,767	1241	142%

※葉色は葉色板の数値
葉色は数値が高いほど濃い

7月7日調査
表 R7移植後61日（7月7日）の生育調査

処理	葉面積 (m ² /m ²)			乾物重 (g/m ²)		
	本年	平年	比 (%)	本年	平年	比 (%)
コシヒカリ・0.0	2.46	2.17	113	348	260	134
コシヒカリ・0.3	3.79	3.58	106	530	401	132
コシヒカリ・0.5 (全基)	3.68	3.24	113	534	382	140
とちぎの星・0.6 (全基)	4.12	3.77	109	528	484	109
とちぎの星・0.5	5.44	4.53	120	643	515	125

2025 生育診断ほ「コシヒカリ」生育経過（7月7日）



2025 生育診断ほ「とちぎの星」生育経過（7月7日）

